

## Worldwide Friendship

## 太田スポレク祭で国際交流広場開催



ザ フレンドシップフォース オブ 太田・群馬



ブラジル人学校ピタゴラス太田校



太田日本語教室あゆみの会

市内在住ペルー人「グループKazoku」

平成23年10月22日(土)・23日(日)の2日間で開催された太田スポレク祭会場において、今年も国際交流協会の活動に携わっているボランティア団体や在日外国人の皆さんが集い、国際理解、多文化共生を楽しみながらアピールする目的で国際交流広場を設けました。

焼き饅頭や喫茶などの模擬店はもちろんのこと、普段見慣れぬブラジルのソーセージや牛肉の串焼シユラスコ、ペルーの牛の心臓の串焼きアンティックチョなど国際色豊かな料理もあり、来場者は、その炭火で焼く美味しい匂いに誘われ、どのブース也大いに賑わいました。

## HEAD LINE

- 1 太田スポレク祭で国際交流広場開催
- 2 第15回外国人日本語スピーチコンテスト開催
- 3 第15回外国人日本語スピーチコンテスト(最優秀賞)
- 4 日本語教室あゆみの会受講生のバス研修「東京見学」  
Welcome to Ota ~市長表敬訪問~
- 5 初級スペイン語講座 開催  
デイリー・イングリッシュ講座 開催  
初級ポルトガル語講座 開催
- 6 韓国語講座~夜間クラス~ 開催  
韓国語講座~午前クラス~ 開催  
楊永環水墨画新作展  
& 太田市日中友好協会会員藏品展
- 7 日本語ボランティア講師研修講座(初級・中級)  
外国人集住都市会連いだ2011が開催されました
- 8 Voice to voice

# 第15回外国人日本語スピーチコンテスト 開催



優秀賞  
ニンジェ  
(モンゴル出身)



出場者と審査員の皆さん



優秀賞  
タカヤマ アントニオ  
(ペルー出身)

平成24年3月4日(日)太田市学習文化センター視聴覚ホールにて、第15回外国人日本語スピーチコンテストを太田中央ライオンズクラブ、太田市国際交流協会の主催、太田市国際連絡協議会の共催で開催しました。今年は、7ヶ国(ペルー、ブラジル、インドネシア、中国、フィリピン、モンゴル、スリランカ)11人の外国人の皆さんによる日本語のスピーチが披露されました。皆さん、日頃から日本語の勉強をされているとあって素晴らしいスピーチでした。日本に来て、感じたこと、伝えたいことを多くの来場者に聞いていただき、盛大にスピーチコンテストを開催することができました。

また、アトラクションとして、市内公立学校に通うブラジル人生徒による、ノン・コンペティションスピーチが発表されました。2人の生徒さんが日頃の練習の成果を発揮しました。また、「ポルトガル語の会」による、「サーカスとストリート」をテーマにした創作ダンスも披露されました。

“ポルトガル語の会”による創作ダンス  
テーマ：「サーカスとストリート」



## 第15回外国人日本語スピーチコンテスト

# 最優秀賞

出場者は、日頃勉強している成果を十分に発揮し、みなさん素晴らしいスピーチを発表されました。ここに今年度最優秀賞に輝きました、ガンマンボラ・イニヤグ・ブッディ・ブラカシャニさんのスピーチを紹介します。



ガンマンボラ・イニヤグ・ブッディ・ブラカシャニ  
(スリランカ出身)

## 「3月11日」

みなさんこんにちは、はじめまして。私は、ブッディ プラカシャニといます。

2007年スリランカから来ました。太田に住んでいます。夫と、日本で生まれた2人の息子の4人家族です。

スリランカは九州の9分の1くらいの島で、日本から飛行機で8時間半くらいです。最近まで内戦がありましたが、今は平和が戻っています。昔はセイロンと言いました。紅茶が有名なことは皆さんも知っているでしょう？自然も豊かで、美しい所です。特に海は綺麗で、私は子どもの頃、海が大好きでした。毎日海で遊んでいました。

・・・が、2004年スリランカに大きな津波が来て、3万人くらいの方が亡くなりました。海で遊んでいた子どももたくさん亡くなりました。その時から、私はあまり海が好きではなくなったのです。海が悪いのではないとわかっているのですが、たくさん子どもたちが亡くなったことが私にとって大きなショックで、心が元に戻れないのです。

そして、3月11日・・・

私は郵便局にいました。私のお腹には7ヶ月の赤ちゃんがいました。2人目の子どもです。その日の検診で男の子とわかり、とても嬉しくて、すぐに国の母に知らせようと手紙を書いたので、切手を買って行ったのです。突然大きく揺れました。スリランカで地震を経験したことがなかったので、とても怖かった。そのうちオフィスのパソコンが倒れたり、本なども落ちました。私たちの家は古いので、もしかしたら壊れているかもしれない。早く帰りたいのですが、郵便局の人が心配してくれて、まだ帰らない方がいいと言うので、30分くらいそこに居ました。家族のことも心配でしたが、夫と携帯がつながり、大丈夫とわかりました。長男は保育園にいるから安全と思いました。

家に帰ると、家は壊れていませんでしたが、中は大変でした。壁に掛けてあった写真や時計はみんな落ちて、食器もたくさん壊れていました。

しばらくの間、どうしようとぼんやりしてしまいましたが、息子を迎えに行かなければと保育園に行きました。子どもたちは先生の周りに丸くなって座っていました。子どもたちも怖かったと思います。

夫も帰ってきて、全員揃いましたが、テレビのニュースで地震だけでなく、津波もあったことを知りました。家や車、船などが流されて、田畑の中を津波がどんどん進んでいくのを見ました。

夜になって、国の両親たちが「危ないから帰ってきなさい」とインターネットで何度も連絡してきました。その夜はほとんど寝ることが出来ませんでした。この日は嬉しいことと、怖いこと、2つ経験しました。

次の日、フクシマで原子力発電所が爆発しました。今度は親戚の人たちも帰ってくるようにと連絡してきました。

「あなたたちは何を考えているの。子どもたちのことが心配じゃないの！！」

私も少し不安はありましたが、それでも日本は私たちの国よりずっと安全で平和です。学校で勉強しましたが、ヒロシマ、ナガサキ2回も大変なことがあったのに、とても立派な国になりました。私たちはアジアの中で日本がとても良い国と思っています。スリランカに津波があった時、すぐに助けてくれました。私たちには逃げる国がありますが、日本の人はそれはできません。だから、私は逃げないと決めたのです。あの日からもうすぐ1年です。東北の人たちは頑張っています。ですから、私も家族と一緒にこの国で頑張っていきたいと思っています。

今日はこのステージでスピーチできたことに感謝します。ありがとうございました。

日本語教室「あゆみの会」受講生のバス研修  
「東京見学」

浅草寺見学



東京都庁見学



毎年恒例となった日本語教室あゆみの会によるバス研修が、平成23年10月16日(日)に実施されました。参加者はあゆみの会の講師と、11カ国にもものぼるその受講生の総勢83名で、当日は天候にも恵まれ、10月の中旬にもかかわらず日差しが強く、汗ばむほどの陽気でした。行き先は東京都庁～浅草方面で、都庁展望台では眼下に広がる都会の景色を背景に、皆が盛んにシャッターを切っていました。浅草では東京の下町の風情を満喫すると同時に、完成間近の東京スカイツリーを目の前にし、その壮大さに目を見張っていました。また行き帰りのバスの中では、自己紹介の後にゲームや歌が披露されました。日本語の歌はもちろん、参加者各国の歌も披露され、終始和やかな雰囲気の中でバス研修を終えました。

浅草で昼食



隅田川見学

Welcome to OTA  
市長表敬訪問

平成23年9月27日(火)、インディアナ州のSue Murrayグリーンキャッスル市長、ラフィエット学生派遣事業でいつもお世話になっているJody Hamiltonグレイターラフィエット商工会議所経済振興担当理事、William A. Doryグリーンキャッスル/バトナム郡開発センター専務理事の3名が来訪し、太田市長を表敬訪問しました。

グリーンキャッスル市は1837年に創立されたデポー大学を中心とした学園都市で、昭和62年に太田市に本拠を置く企業が進出したことが縁となり、平成10年には英会話サマースクールを実施して市民交流が行われました。

グレイターラフィエットについては、今年の夏に7回目となる学生派遣事業を行う予定です。



## 初級スペイン語講座 開催

初心者を対象にスペイン語の習得のみならずスペイン語圏の人々の生活、文化等の理解を深めることを目的として、平成23年10月21日～11月25日までの毎週金曜日全6回、国際交流センターにおいて「初級スペイン語講座」を開催しました。講師は、太田市教育委員会と館林高等看護学院に勤務されている日系ペルー人の田中ミチコ先生です。



先生のスペイン語の発音はとても丁寧で、講座の内容も初心者に分かりやすく、受講生の皆さんから高い評価を得ることができました。太田市にはスペイン語を母国語とする在住外国人も多く、この講座をきっかけに地域社会の中で異文化交流にさらに興味を持っていただくことを願っています。

先生のスペイン語の発音はとても丁寧で、講座の内容も初心者に分かりやすく、受講生の皆さんから高い評価を得ることができました。太田市にはスペイン語を母国語とする在住外国人も多く、この講座をきっかけに地域社会の中で異文化交流にさらに興味を持っていただくことを願っています。



## デイリー・イングリッシュ講座 開催

平成23年11月4日～12月9日までの毎週金曜日全6回、国際交流センターにおいて、デイリー・イングリッシュ講座を開催しました。講師はALT（外国語指導助手）のアレン・サイモンさんです。

受講者は活発な意見を交わし、レベルの差をフォローし合いながら講座は進みました。「今後も継続して英語を学んでいきたい」と話す意欲的な皆さんでした。



### ◇受講者の感想◇

- 年代を超えて人とのコミュニケーションやふれあいができ、そして外国へ出かけていっている方々から生の声が開けて、うれしい、楽しい話題で楽しかった。
- ヒアリングに弱点のある自分にとって他受講生の方の会話力に大いに刺激を受け、当教室に参加できてラッキーでした。今後自分なりに努力、精進する契機になりました。



## 初級ポルトガル語講座 開催

平成24年2月1日～3月7日までの毎週水曜日全6回、国際交流センターにおいて、「初級ポルトガル語講座」を開催しました。講師は太田市教育委員会バイリンガル教員の坂本裕美先生です。

受講者に動機について尋ねたところ、「職場でブラジル人にふれあうことが切っ掛けで、もっとブラジルの文化を知りたい、ポルトガル語を覚えて身近になりたい」「ブラジルに大変興味があり、

1. 経済成長が目覚ましい、BRICSの筆頭である

2. ブラジル料理のファンである

3. ブラジル人の気質が大好きである

という理由から、ポルトガル語がわかればもっと楽しいと思い受講したいと思った」

「3年前ブラジルに行った時にポルトガル語がわからなくて困ったことがあったので、次に行く時には話せるようになっていたいと思った」

「2014年ブラジルW杯前の予習。太田市民にとって身近な言語だから」との答えがありました。

その他に様々な動機がありましたが、受講者は熱意を持って学習に励んでいました。



## 韓国語講座～夜間クラス～ 開催

平成23年11月9日～12月21日までの毎週水曜日全6回、国際交流センターにおいて初心者の方を対象に「韓国語講座」を開催しました。

講師は金承鎰（キム スニイル）先生です。今の韓国の話などを交えながらの熱心な授業は、受講生にも大変好評でした。



### ◇受講生の感想

- ・韓国語への興味が広がり、理解も深まりました。自分にとって今回の講座は大きなプラスになりました。
- ・楽しかったです！6回目になると少し話すことができても驚きました。
- ・ドラマやライブのDVDを字幕なしで見れるまで成長したい。これを機にもっと韓国語を頑張ります！



## 韓国語講座～午前クラス～ 開催

平成23年11月14日～12月19日までの毎週月曜日全6回、国際交流センターにおいて初心者の方を対象に「韓国語講座」を開催しました。講師は黄善姫（ファン ソンヒ）先生です。初回には民族衣装を着て、韓国の文化の紹介なども交えながら授業を行いました。毎回、明るく楽しい雰囲気での講座でした。

### ◇受講生の感想

- ・同じ目的の人達と知り合うことが出来、本当に良かったです。講座も毎回楽しく貴重な時間が過ごせました。
- ・韓国の今の様子や考え方なども教えていただけて語学だけでなく、すばらしい内容でした。
- ・対面、会話方式だと、一人で学習するのと全然違う。ドキドキしながら聞いて楽しかったです。



## 楊永琚水墨画新作展&太田市日中友好協会会員蔵品展

平成23年12月17日（土）～19日（月）の間、学習文化センターにおいて楊永琚水墨画新作展&太田市日中友好協会会員蔵品展が開催されました。

楊永琚氏は善光寺の「桂林之雨」等の大襖絵や高野山総本山金剛峯寺の大絵「牡丹図」を制作するなどの活動をされています。

本展覧会では「曹操観海図」等の氏の新作及び太田市日中友好協会会員の収蔵品が数多く展示され、中国文化に触れる機会となり多くの方の目を楽しませていました。



## 日本語ボランティア講師研修講座（初級・中級）

日本語ボランティア講師研修講座を、今年度は11月5日～26日と2月18日～3月10日の2度実施しました。

講座はいずれも4回で、11月の講座は日本語学習支援ボランティア活動に興味を持つ初級者の方が対象で、2月の講座では日本語学習支援ボランティア活動等にすでに参加し、日本語ボランティア講師の経験がある中級者の方を対象とし、いずれの講座も日本語教授能力を向上させ、今後の日本語学習支援ボランティア活動に役立ててもらおうことを目的として実施しました。

私たちが日常生活で何気なく使っている日本語ですが、これを外国の方に教えることの難しさを再認識しつつ、受講生の皆さんは日常会話や文法などの教授法について熱心に学習していました。



初級日本語ボランティア講師研修講座



中級日本語ボランティア講師研修講座



## 集住都市会議 いいだ2011が 開催されました

平成23年11月8日（火）長野県飯田市において外国人集住都市会議いいだ2011が開催され、太田市からも清水聖義市長が出席し、提言を行いました。

今回の集住都市会議では平成23年3月に国が策定した「日系定住外国人施策に関する行動計画」の検証を行い、日本語教育の総合的な推進体制の整備や仕事に必要な日本語の習得など



を図る職業訓練、公立小中学校における日本語教育への支援、東日本大震災の経験を踏まえた防災施策の課題等の提言を行いました。その中で清水市長からは改正住民基本台帳制度の整備や周知について徹底することや、多言語による情報提供の推進やあり方に対する提言を行いました。

なお、この会議には市議会の代表団も参加しました。

# VOICE TO VOICE



## Laços

Professora Bilingüe **Chikako Goto**  
Escola Primária Municipal Sawano Chuuo

Eu nasci numa família de imigrante japonês do Brasil e na escola, as minhas amigas me chamavam de "japonesa".

O motivo de ter vindo ao Japão é porque a situação do Brasil ficou péssima devido a inflação galopante chegando ao ponto do governo determinar a não retirar o dinheiro da conta corrente nem da poupança.

Em setembro de 2003, fui empregada pela Secretaria de Educação de Ota onde pude fazer parte do Projeto de Educação dos filhos de Estrangeiros como professora bilingüe, a qual estou até a presente data.

Tive momentos ótimos, consegui ter muitos amigos, abençoar o casamento da minha filha com japonês e fiz muitos turismos.

No entanto, em 11 de março do ano passado aconteceu o terremoto e maremoto que provocou danos astronômicos. Só ao ouvir notícias cheguei a senti pavor. Houve corte de energia elétrica e quando ocorria os tremores de escala menor, ficava tremendo de medo debaixo da coberta.

Porém, aqueles que experimentaram e sobreviveram ao terremoto da Região Leste do Japão devem ter ficado com o coração despedaçado e com uma dor sem fim. E mais ainda, ocorreu o acidente da usina nuclear. Acreditamos que as pessoas que perderam os pais e os filhos necessitarão de apoio emocional por longos anos.

No Brasil, dizem que "Os japoneses são incríveis" pois, apesar de sofrerem grandes danos com o terremoto conseguem recuperar em tão pouco tempo. As pessoas unem as forças e se ajudam mutuamente. Por certo esse tipo de comportamento não é fácil ver em qualquer parte do mundo. Eu também cheguei a crer que os japoneses estão ligados por um laço (kizuna) forte de solidariedade.

Como professora bilingüe, posso prestar ajuda preparando para eventuais terremotos fazendo treinamentos de fuga e pedir para os pais respeitarem as medidas de busca e assim, garantir a segurança dos alunos. Além disso, devo cumprir com as minhas obrigações de professora, dar apoio aos alunos e ajudá-los no seu desenvolvimento.

Passaram-se 21 anos desde a minha chegada ao Japão. Sinto que todo esse tempo sempre recebi ajuda de alguém e com isso, compreendi que este relacionamento faz surgir "elos amigáveis" entre as pessoas.

Como sentimento de gratidão, quero lançar palavras de incentivo às pessoas que foram vítimas de catástrofes: "Gambare Nippon!!" ou seja "Força Japão!!".

## 絆

バイリンガル教員 **後藤 智華子**  
太田市立沢野中央小学校

私は、日本人移民の家族としてブラジルで生まれ、学校ではお友達に"日本人"(ジャポネーザ)と呼ばれていました。

日本にきた理由は、ブラジルがインフレの状況でひどくなり、銀行の預金や貯金などを引き出す事さえ停止されたからです。

2003年の9月から、バイリンガル臨時職員として外国籍児童教育に携わるプロジェクトに参加することになり、今に至っています。日本にきて、楽しい事や嬉しいことがいっぱいありました。友達ができ、娘は日本人と結婚し、旅行もたくさんしました。

ところが、去年3月11日に膨大な被害をもたらした地震と津波があり、ニュースを聞くだけでも恐怖を感じました。停電がおき、余震がくるたびに、夜、布団の中で震えていましたけれど、実際「東日本大震災と津波」を体験して生き延びた方々の心の痛みは、はかりしれません。さらに、原発の事故による災害もあり、親や子供を失った人たちの心のケアが長年必要になることでしょう。

ブラジルでは、「日本人は「ものすごい」と言われています。大規模の災害に襲われても復旧がはやく、市民たちが手を取り合って、お互いに助け合うことは、他ではあまりみられないことです。私自身も、日本人は本当に強い絆で結ばれているのだと感じました。

それで、バイリンガル教員としてできることは、学校で、地震が起きたときに備えて避難訓練や親への引渡し対策を守ってもらい児童の安全を確保することです。又、一生懸命、先生の役目を果たし、児童の心の支えになり、成長を見守ることです。

ブラジルから日本へ移り21年の年月がたち、いつも誰かに支えてもらっていました。人と人との係わりが絆をもたらすのだと気づく事ができました。ですから、私も感謝の気持ちとして被災地の方々に、エールを送りたいと思います。「がんばれ日本!!」



故郷、サンパウロ州アサイー市の風景

## ◆ 会員募集中 ◆

国際交流に関心のある方、ぜひご加入ください。

会費(年額)：法人一口 5,000円 個人一口 1,000円

### 編集後記

太田市国際交流協会では、ホームページを開設し、当協会の情報を日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語で掲載しています。皆さんからのご意見・ご要望などもぜひお聞かせください。お待ちしております。

<http://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-007kikaku-kouryu>